



子どもに声を掛けながらサクランボの箱詰め作業を行う安倍晋三首相
＝天童市・大町さくらんぼ園

首相来県 農業視察 生産者と意見交換

本県の農業や畜産業の現三首相が9日、来県した。状を視察するため、安倍晋三首相、山形、天童、上山の各市で

サクランボや和牛の生産現場を見て回り、生産者と意見交換。労働力不足や、環太平洋連携協定(TPP)合意による懸念など、現場の課題や不安を聞き、生産者の所得増大や、農業の成長に向けて支援することを約束した。

＝3面に関連記事

天童市では武田順一さん(65)のサクランボ園を訪れ、県主力品種「佐藤錦」や県奨励品種「紅秀峰」などの果樹を見て回った。自ら収穫した実を食べて糖度が20度あることに驚き、「これはいける」と笑顔を見せた。働き手の確保や高所での作業の大変さ、施設の更新が必要なことなどを聞き、「収穫は大変だが、高収入を目指して頑張ってほしい。われわれも応援する」とねぎらい、箱詰めなども体験した。

畜の餌に使い、堆肥を地域の農家に還元する耕畜連携で山形牛を肥育する平尾喜代春さん(67)の畜舎を視察。平尾さんからTPPの影響を懸念していることなどを聞き、平尾さんが生産した牛肉の焼肉に舌鼓を打った。

上山市では、旧尾形家住宅でコマや野菜、果樹、肉牛などの生産者9人と「車座ふるさとトーク」としていろいろを囲み「創意工夫で切り拓(ひら)く農業の未来」をテーマに対話。生産者からは圃場整備の推進、物流経費の削減や若手農業者のやる気を育てる支援を求める意見が出た。また、中国市場へコマを輸出しやすくするための環境整備、外国人観光客の誘致促進を期待する声もあった。

安倍首相は「農家の手取りが増えるよう、売り手側の営業力強化、プロモーションを手伝っていききたい」「皆さんの新しい試み、挑戦を応援する。成長するア

ジアの中で、日本の農業も成長するよう、あらゆる政策でバックアップしていく」と語った。